

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染に注意をしながら社会生活が経済を回すようになり、出張や結婚式、葬式といった我々の業界に追い風になるような行事が行われるようになれば、これまでよりは良くなっていると考えている。
	◎	旅行代理店（従業員）	・季節変化、新規感染者数減少、ブースター接種、経口薬の流通等、ポジティブ要素が複数あることから、心情面含め良くなることを期待したい。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・3回目のワクチンが終わると、人の動きも出て少し良くなるとみている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・健康に関することに注意関心を持つ人が多くなっている。また、出掛けられないことによって、買物をしたいという欲求が強くなってきており、それが買物につながるものとみている。
	○	百貨店（売場主任）	・3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて、消費が上向くものと期待する。
	○	百貨店（買付担当）	・3回目のワクチン接種が少しずつ進み、気温上昇とともに感染が落ち着けば状況は良くなると考える。
	○	百貨店（経営者）	・新規感染者数の減少傾向が前提となるが、前年の秋の消費動向と同じように、リベンジ消費の動きが、季節の変わり目や年度初めの人の動きに合わせて活発になっていくと期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染の収束はみえないが、人の動きはより活発になっており、当面は現状が続くと推測される。
	○	コンビニ（経営者）	・3回目のワクチン接種が始まっているので、ワクチン接種率の上昇に伴いある程度感染は落ち着いてくる。よって、人の動きも良くなり、景気は回復してくるとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の状況にもよるが、暖かくなってくれば出掛ける気分にもなり、洋服の購買意欲につながるとみている。
	○	衣料品専門店（店長）	・3回目のワクチン接種が進み、新規感染者数が落ち着いてきた段階で消費が戻ってくるとみている。しかし、これまでの経緯から先行きは読めない。
	○	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染がピークアウトし、経口抗ウイルス薬が普及すれば、通常の生活に戻り、徐々に景気が回復することが予測される。
	○	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス感染者の重症者が減ってきているため、来客数が回復してくると予想している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型の軽の電気自動車が発売されるので、個人の消費が伸びてくれればと期待している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・売上は新車在庫次第だが、新型車の発表もあり受注は良くなるとみている。メーカー決算期で宣伝も増え、来場も増加する。
	○	乗用車販売店（店長）	・ある程度新車の納車が進むとみられるため、収益の改善も見込まれる。新規納入が進めば下取りも進み、中古車在庫も改善が図られると考えている。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・まん延防止等重点措置の適用が解除されれば動きが出てくるが、かなり緩やかな回復になることが想定される。良くなるにしても非常に厳しい状況が続くとみている。
	○	その他専門店〔食品〕（経営者）	・3回目のワクチン接種も進み、3月は少し落ち着くため、今月よりは良くなる。しかし、ここに来てロシアがウクライナに侵攻したことから、恐らく今後原材料費が上がり、値上げがどんどん進むとみている。悪いインフレで景気は後退するとみている。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・まん延防止等重点措置も解除となり、春も訪れることから新年度に向けて大きく動くと期待している。世界的にも規制撤廃の動きがあるなか、まだ国内では大騒ぎしている状況に歯がゆい思いだが、いつまでもこのような状況が続くわけもなく必ず回復していく。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況に不確定要素はあるものの、ワクチン、飲み薬等の普及により、今後消費マインドが上向きになると考えられる。
○	一般レストラン（経営者）	・3回目のワクチン接種が行き渡れば、ある程度客も安心して戻ってくるようになるという期待を持っている。	

○	旅行代理店（従業員）	・3月下旬以降の予約済みキャンセルは発生していないこともあり、まん延防止等重点措置の延長解除となれば、3月下旬からの観光人流は春休み後半と花のシーズンで動くものと想定している。また、4月以降もゴールデンウィークに向けて、先行予約が徐々に増加している。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりになってきており、2～3か月後には経済も持ち直し、景気はやや良くなるとみている。
○	通信会社（営業担当）	・個人向けのインターネット商品の加入増加が見込めないため、マンション・アパートのオーナーや法人向けの商品に切り替えて営業を始めたところ、まとまった契約ができるようになってきた。B to CからB to B、Gへの展開により、少しずつではあるが契約増加を期待している。
○	テーマパーク（職員）	・3か月後は新型コロナウイルスも収まり、出掛ける人が増えるともみている。何回も出されたまん延防止等重点措置などにより、通常の消費意欲は下がっているものの、少しせいたくに過ごす意欲は上がってきている。
○	競艇場（職員）	・春が近づくにつれ交通の不便さは解消されるので、いつもの客が戻ってくるとみている。
○	美容室（経営者）	・3か月先は年配者のほとんどで3回目のワクチン接種が終了し、子供も1回目が終わるといことで、安心感から客がまた店に戻ってきてくれるとみている。また、来店サイクルもどんどん長くなっているが、それも元に戻ってくると期待している。
○	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かうと来場組数は増加するため、これまでの状況から推測するとやや良くなるとみている。
□	商店街（代表者）	・今月、来月が底とみているが、そこから急激に良くなるとは考えていない。現実的には横ばいになると予想している。
□	商店街（代表者）	・3回目のワクチン接種や5歳以上のワクチン接種、重症者数減少に加え、春がやってくることから、外出が増加すると予想している。しかし、ロシアのウクライナ侵攻などによる原油価格高騰や経済不安により、全ての商品が値上がりし、景気は横ばいとなる見込みである。
□	商店街（代表者）	・当県では新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るっており沈静化がみえない。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・全体的に売上が良好なアイテムに乏しいため、変わらないとみている。しかし、新型コロナウイルスの感染状況によって、外に出てくる人が増えれば、上昇機運はあるかもしれない。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がどのような方向に向かうのか見通せないで、現在の悪い状態は続くともみている。ただし、感染力が弱まれば人々は繁華街へ戻り始めることも考えられる。
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されても、販売量がほぼゼロに近い現状は変わらないとみている。今年は雪もひどく、雪害も多い。飲食店への支援はあってもその先の酒販店までには一切の補助がない現状では経営はひっ迫していくばかりである。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染が落ち着いたなら、客は心理的に物資を欲する気持ちになるとみている。それにより商品が動く可能性はあるが、第7波が出てくればどうなるか分からない状況である。
□	百貨店（営業担当）	・感染状況次第ではあるが、来街者や旅行者の大幅回復は見込めない。
□	スーパー（店長）	・商品の相次ぐ値上げもあり、乗客数の減少に加え、買い控えの影響も大きくなっている。最近夕方早めに客が引ける傾向もあり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響も少なからずあるとみられる。この状況はしばらく続くともみている。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数の推移も急激に下がることはないと思われるため、現状の食生活や買物行動が継続されていくものと予測する。
□	スーパー（店長）	・来店頻度は若干下がっているが客単価は上がっているため、売上向上に結び付いている状態である。

<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響はいまだあり、食品小売業の売上に関しては、前年ほどではないものの高水準で推移している。その状態はまだ続きそうなので、2～3か月後も変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・新年度に向かって人の動きにどのような変化が起きるかがみえない。新規感染者数の動向による大きな変化はないとみており、景気の変化もないと予想している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・依然として客単価や買上点数などは総じて底堅く、購買意欲はあるとみられる。しかし、新型コロナウイルスの影響で再び夜間、土日の客足が抑え込まれる状況が続くのであれば、停滞状態のまま推移するとみている。新型コロナウイルスに対する認識が変わるまでは回復は難しいと考える。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が大半を占め、新規感染者数もかなり多くなっている。人の動きは3か月前も、まん延防止等重点措置が適用されても、平日は下げ止まったままそれほど変わっていない。人が土日に動かないことがかなり厳しい。行楽等に家族で動かないためそれが響いている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・売上がいつ頃回復するのか今の段階では見当が付かない。ますます悪くなる可能性もある。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので何ともいえないが、収束してイベントや祭りが復活するのを願うばかりである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況や人流次第である。春夏に向けた動きに期待したい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の問題もあるが、人の動きが改善されないと売上改善にはつながらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が余りにも多く、先行きが見えない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・3回目のワクチン接種が全年齢に早く行き渡るようにしてほしいが、期待しながら見守るしかない。年度末の特需に期待し、訪問販売を行っている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が完全に終息するとは考えにくい。次から次と新たな変異株が現れ同じような繰り返しが続くともみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染収束が依然みえない状況で、客の活動自粛はまだまだ収まりそうにない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・現状のコロナ禍での営業活動がなかなかうまくいっておらず、受注量が取りにくいという状況に余り変わりはない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・回復の兆しがみえない。ワクチンを含め、有効な予防対策を期待する。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染対策の緩和があっても原油価格は高止まりが続くとみている。今後も販売量の回復は望めないため、景気回復もない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・第6波がいつ収束するのか、第7波がいつくるのか、全く見通せない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスオミクロン株の終息が見込めない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・新規感染者数がどこまで減るかによるが、行政支援策も打ち出しにくいとみられるため、大きく好転することへの期待が持てない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	・全てにおいて先が見えない。また、新型コロナウイルス感染症の第7波が来ることが懸念される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・今が底で、新型コロナウイルスオミクロン株がピークアウトしてくれば変わるとみているが、2～3か月先では無理なのではないか。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・現在、新型コロナウイルスオミクロン株の別系統が出始めているが、これまでのウイルス株もおおむね3か月程度の流行となっていることから、景気は現在と同様若しくは悪くなると推察する。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・ガソリン価格高騰、新型コロナウイルス感染症がすぐに収まることは考えられない。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・世の中の流れとして、感染状況に左右されながら自粛しているのではなく、自粛することが自然であるという流れに傾いているようである。特に県内はその傾向が強く、2～3か月で状況が良くなるかは疑問である。

□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でいろいろな行事等、人が集まること が少なくなっている。
□	設計事務所（経営者）	・今後の中長期の受注計画に沿った形で経営が進む見込みで、特に 大きな変化はない。
□	住宅販売会社（経営者）	・少ない集客のなかで獲得できる客層は若年層であり、客単価が上 がらない。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第であるが、飲食店の疲弊はひどく、閉店 が急増している。
▲	一般小売店〔医薬品〕 （経営者）	・国際情勢の悪化に伴うエネルギー価格の更なる上昇により、各種 生活必需品の値上がりが予想される。必要最低限以外の出費は抑え られ、全体的に景気は悪化するとみている。
▲	スーパー（経営者）	・3月からはロシアへの経済制裁が始まるので、国内消費への影響 も避けられない。いろいろな商品の価格が予想外に急騰したり、商 品の入荷が遅れたり、なくなったりと、商品の供給網にも影響が出 始めるとみている。消費者心理が弱くなり、買い控えが始まらない ことを願っている。消費は現状よりやや悪くなるとみている。
▲	スーパー（経営者）	・ウクライナ情勢の行方次第ではあるが、様々なものが値上がりし ているなかで、これ以上の値上がりは買い控えの心配がある。
▲	スーパー（営業担当）	・コロナ禍に加えて、ウクライナ情勢による値上げ、品不足など不 安材料が大きくなっている。
▲	コンビニ（経営者）	・平日は客が戻っているが、土日に限っては新型コロナウイルスの 影響で来客数、売上共に減少が著しくなっている。
▲	コンビニ（店長）	・ウクライナ情勢による原油高や物価の上昇に収入の上昇が付いて いけない状況になっている。4月からは軒並み値上げになることが 決まっているので、家計を相当圧迫するとみており、予断を許さな い状況である。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の上げ止まりがみられない状況 のなかで、先行きがかなり不安である。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス新規感染者数増加や半導体不足の問題が2～ 3か月先に収束するとは思えない。また、ウクライナ問題の影響も 気になる場所である。現状より悪くなる条件がそろっている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・どの自動車メーカーも同じだと思うが、例年4～5月は販売に苦 戦している印象を受ける。コロナ禍ということに鑑みても後退する とみている。
▲	自動車備品販売店（経営 者）	・家庭内感染、学校などでのクラスターが増加しており、前年同期 と比べ感染者が多くなっている。よって、歓送迎会等は前年よりも 自粛が進み、3～4月は特に飲食業は厳しいようである。
▲	住関連専門店（経営者）	・主に仏事商品の販売をしているが、新型コロナウイルスの影響に より販売が縮小傾向になっている。新型コロナウイルス終息後も販 売量の減少は続くこととみており、それについては今後の課題になる。
▲	その他専門店〔ガソリン スタンド〕（営業担当）	・ガソリン価格の高騰や新型コロナウイルスなどで外出控えが増え ると、店頭での販売量も減るとみている。
▲	高級レストラン（スタッ フ）	・来客数の回復に時間が掛かるため、景気はやや悪くなる。
▲	観光型ホテル（スタッ フ）	・県民限定の宿泊割引キャンペーンも終了し、G o T oキャン ペーンも開始の予定がまだ決まっていないので好転する要素がな い。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株のみならず、ウクライナ情勢の 影響が出てきそうである。
▲	遊園地（経営者）	・3月より再開し春の行楽シーズンを迎えるが、新型コロナウイルス の感染状況次第である。しかし、ウクライナ情勢、原油・原材料 価格の上昇も懸念されることから、厳しい見通しである。
▲	その他サービス〔自動車 整備業〕（経営者）	・3～4月は通常であれば人の動きも経済も活発な月だが、卒業 式、入学式、送別会、年度末や年度当初の役員会、総会など、中止 かりモート、出席制限となっており、まだまだしばらくは回復でき そうにない。
▲	その他住宅〔リフォーム〕 （従業員）	・給湯器の納品時期が見通せない状況となっている。給湯器以外の 商品にも納品遅れが出てきている。
×	商店街（代表者）	・世界で起こっていることが影響すると感じている。

	×	スーパー（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻によりエネルギー価格、食料品価格の高止まりは続き、食品の値上がりは継続する。そのため、客の財布のひもが固い状況は続く。
	×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの問題だけでなく、ウクライナ問題など国際情勢が絡んできて複雑になってきている。見通しが立たない状況である。原油高や日用品の価格上昇の影響で、客の生活において消費意欲が冷え込むような状況が続いている。買換え需要の家電製品の購入に慎重になってくるとみている。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束するかも分からないし、新型コロナウイルスの影響が薄れたとしても社会活動が以前のように戻る可能性があるかどうか分らず先が見えない。したがって、良くなるとは思えない。
	×	一般レストラン（経営者）	・前年の11～12月は新型コロナウイルスの感染が収まったので売上が7～8割は戻ったが、この先新型コロナウイルスの新規感染者数はまだまだ増えそうであるため、悪くなるとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・最近の出前や仕出しの数字をみると、知らない人が配達に来ることを警戒してかテイクアウトが増えてきている。この状況からは、まだまだ来店してのアルコールを含んだ会食はできないと判断している。生活習慣も変わってきたようなので、飲食店としては不景気が続くともみている。
	×	タクシー運転手	・ガソリン代を始め、タクシーの燃料代が上昇している。また、公共料金が上がってきていることから、客の財布のひもも固くなってきている。これらのことから、タクシー業界の景気は悪くなる方向にあるとみている。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染収束とウクライナ情勢の落ち着きが見えない限り、2～3か月先の景気は悪くなる。今後税金が投入され国民負担が大きくなる。経済が厳しくなり労働生産は行き詰まると考える。
企業 動向 関連 (東北)	◎	*	*
	○	食料品製造業（製造担当）	・人流が増え、特に県外客が動き出すものとみている。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体製品の価格全般が若干上昇傾向であるため、今後、景気が良くなる方向にあると考えている。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・大きく動く見込みはみえていないが、以前より設備の引き合いの情報が出てきている。
	○	建設業（従業員）	・春に向け、見積案件が増えてきている。
	○	建設業（従業員）	・年度初めに見込まれている案件があり、一定の受注契約は確保できるものと想定している。
	○	公認会計士	・今から2～3か月先は、新型コロナウイルスの感染が落ち着き消費者の購買活動も少し戻るとみている。小売、サービス、飲食は現在より業績回復が見込まれ、建設業なども極端に悪化する要因がないので、景気はやや良くなると予想している。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの第6波のピークアウトにより人出は戻ると予測している。
	□	農林水産業（従業者）	・この冬は今までにない大雪で寒かったが、春の暖かさは例年並みの予想であり、前年と同様、果物の開花は早くなると予想している。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が良くなり、人の動きが良くなることを期待している。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が落ち着かない限り、景気は好転しないとみている。
	□	窯業・土石製品製造業（役員）	・4月以降の値上げが浸透するかどうかポイントである。ロシアとウクライナの戦争が世界経済全体に及ぼす影響を懸念している。
	□	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスに加え、ウクライナ問題で先行きが不透明ではあるが、それぞれの問題が極端に悪化しなければ現状維持でいけるとみている。
	□	通信業（営業担当）	・まだ厳しい状況は続くともみられ、新たな策を講じていく必要がある。
□	通信業（営業担当）	・半導体不足の影響が想像以上に長引いており、受注があっても商品を提供できない状況が続いている。	

	□	広告業協会（役員）	・3年ぶりに春の大型祭りが開催されることになったが、一方で地域の桜祭りは今年も中止になるなど、全面開放とはならない状況が続く。広告業界全体の底上げにはしばらく時間が掛かる見込みである。
	□	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・以前より仕事の量が減り、残業手当などももろもろの手当が非常に少なく、給料が実質5～7%減っている状況のようである。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・今後懸念されるのはやはりガソリン価格の上昇である。近場からの来客すら減少している今、景気の上向きにつながりやすい遠方からの来客が期待できない。
	□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・半導体関連等の受注は上昇傾向にあるが、部品調達不足及び原材料等の高騰により収益は伸びない。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第でイベント等が再開すれば良くなる可能性もある。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・受注単価の値上げは喫緊の課題である。物価上昇に拍車がかかることは目に見えており、早急な経済対策がないと持ちこたえられない企業が続出する。3月の期末、決算期を乗り越えられるかが正念場となる。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先に関連した業界動向として、一般的に経営数値が悪化傾向である。
	▲	輸送業（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻により、燃油価格の更なる高騰が現実的なものになってきた。業界だけを見ても軽油だけではなく車両、タイヤ、オイル、尿素水など運送に関わる全ての物が値上がりをしている。景気が良くなると予想できる要素はほとんどない。
	▲	金融業（広報担当）	・春の祭り開催など観光関連での集客力復活は、現時点では考えにくい。また、燃油価格の高騰やウクライナ紛争などの影響が多くの業種で顕在化してくるものと予想される。
	▲	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの先行き不透明感に加え、ロシアのウクライナ侵攻の影響が懸念される。
	▲	司法書士	・住宅着工に関する案件が例年より減少している。
	▲	コピーサービス業（従業員）	・半導体の入荷遅れの影響がもうしばらく続くようである。解決するのは夏頃のように、海外部品に依存しているメーカーの製品を取り扱っている当社にとってはしばらく我慢せざるを得ない状況である。つなぎの商材を見付けなければならない。
	×	農林水産業（従業者）	・肥料や農薬の値上がりやがじわじわと収益を圧迫するなか、ロシアのウクライナ侵攻で値上がりに拍車がかかるとみている。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・コロナ禍は2年近く続いており、各企業ではコロナ禍でビジネスをしていくモデルがほぼでき上がってきていると感じている。特に飲食業や旅行、アミューズメントは厳しい業界であったが、そのなかでも現状生き残っている企業はそれぞれの戦略、生き残っていくための取組をしていて、それにより2～3か月先も上昇基調にあると捉えている。採用求人との問合せも中途、新卒採用共に2月中旬以降非常に多くなっている。
	○	人材派遣会社（社員）	・求職者数、求人数共に増加傾向にある。
	○	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株にピークアウトの兆しがみえてきたことから、ある程度の回復は望めるとみている。
	○	職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求人数共に9月以降前年同月を上回っており、今後しばらくはその傾向が続くとみている。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・4月以降に必要な人材を求めている企業からの問合せも増えている。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスやウクライナの情勢などにより、先行きがますます不透明になっている。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たないため、中止・延期されたイベントを開催するまでには至らないとみている。
	□	職業安定所（職員）	・現在、大型商業施設の進出や洋上発電工事など雇用の場が拡大しており、この傾向は当面継続するとみている。
	▲	人材派遣会社（社員）	・地政学的リスクと新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。
	▲	アウトソーシング企業（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、今後も仕事が減ることが考えられる。

▲	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルスの感染状況の改善が想定より遅れてきている。また、ウクライナ情勢の緊迫により、ガソリンなどの燃料費高騰も心配される。広告主からも様々な値下げ要請が厳しくなっていることから、経営環境が悪化していることがうかがわれる。
▲	職業安定所 (職員)	・ウクライナの紛争の影響が出てくるとみている。
▲	職業安定所 (職員)	・求職者数は前年比で減少しているものの、雇用維持政策が縮小すれば、小規模の飲食・サービス業を中心に事業の継続が難しくなってくる可能性が高い。また、原材料や輸送コストの上昇からくる商品の値上げに対して賃金の上昇が追い付いていないため、消費マインドの減少を招いていくとみている。
▲	学校 [専門学校]	・当県の新型コロナウイルス感染対策における今後の対応、対策が不明瞭である。
×	人材派遣会社 (社員)	・新型コロナウイルス感染の収束がみえず、先行きに不安がある。